

令和6年第4回（6月）宮若市議会定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	備考
1. 松岡 史倫	1. 本市の切れ目のない子育て支援について問う	(1) 妊娠期から産後における支援施策を問う (2) 妊娠期から子育て期までを含めた子育て支援拡大についての検討状況を問う	
2. 藤春 優二	1. 行財政改革の取組について問う	(1) 本市の財産活用による広告収入の確保の現状について問う	
	2. 子育て支援の取組について問う	(1) 本市の学童保育の現状について問う	
	3. 農業観光交流拠点整備基本構想について問う	(1) 農業観光交流拠点整備事業の今後のスケジュール及び本事業が本市にもたらす経済効果について問う	
3. 柴田 裕美子	1. 子ども医療費助成の拡大について問う	(1) 本市における子ども医療費助成拡大の今後の方針について	
	2. ギャンブル依存症の対策について問う	(1) ギャンブル依存症問題の認識と本市での取組について	
	3. 防災計画について問う	(1) 本市の地域防災計画について (2) 市民等の防災力の向上について	
4. 遠藤 嘉昭	1. 宮若市外二町じん荼処理施設組合について総体的に問う	(1) 再び本城地区に1市2町の新規焼却炉建設が決定したと聞くが、事実か (2) この件に関し、地元自治会等への対応について問う	
5. 安河 英幸	1. 優良農地の確保について問う	(1) 脇田地区で開発が進んでいるが、農地に影響はないのか市の考えを問う	
	2. 百合野山荘について問う	(1) 現在の進捗状況について問う (2) 公務として京都の文化庁を訪問されているが、公務の位置付け、優先順位について問う	
6. 山元 秀一	1. 人材育成を踏まえた教育のあり方について問う	(1) 子どもたちの学力向上は将来の人的資本として生産力の向上につながり、個人の所得の向上はもとより、社会全体においても経済効果を生むことが様々な研究において報告されている。人的資本としては学力といった認知能力だけでなく、コミュニケーション能力など非認知能力も重要であることは勿論、郷土の歴史・文化の学びから自己肯定感を育むことは教育の基本であると考えます。これらを踏まえ、学力向上及び心を育む教育施策について本市の方針は如何か、また、その具体的な取組について示されたい	

	2. 観光振興による まちの活性化に ついて伺う	(1) 観光産業の拡大による経済活性化は、物質的・文化的成熟した我が国において非常に重要な施策であると考えている。脇田地区での道の駅施設の整備、新たな観光振興団体の設立など、観光振興への取組には一定の評価ができる一方、今年度、観光推進基本計画作成を予算削除しており、施策の実行性に疑問を持つ。観光施策がもたらす経済波及に現状、課題もあるのではないかと考えるが、重要資源の一つである千石キャンプ場の整備計画や、その他新たな観光資源等の発掘についてどのように考えているのか、今後の取組方針を示されたい	
7. 弓削田 敬	1. 自動車臨時運行 許可（仮ナンバー） について伺う	(1) 仮ナンバーの申請手続きについて (2) 利用者が不便な事はないのか	
	2. 市行政の市民向け 各種補助金、助成金 について伺う	(1) 行政の市民向け補助金、助成金はどの位あるのか (2) その利用件数（利用率）はどの程度か (3) 現在の市民向け補助金、助成金の告知方法について	
8. 染矢 正次	1. 児童の通学路に ついて伺う	(1) 登下校の安全対策等について伺う (2) 小・中学校周辺の消えかけた横断歩道について伺う	
	2. 災害対策につい て伺う	(1) 業務継続計画（BCP）について伺う	